

テーブルディスカッションの進行について

1 目的

より少人数によるテーブルディスカッションを行い、「審議経過」における重点的な取り組みのイメージについて、改めて幅広く意見交換し、部会へ向けての議論を深める。

結果はとりまとめのうえ、第1回部会における審議の参考とする。

2 ディスカッションテーマについて

「地域とくらし部会」「まちと活力部会」それぞれに2テーブルを設置し、各テーブルは下記テーマを中心にディスカッションを行う。(詳細は資料5-2のとおり)

ただし、下記テーマ以外の事項についても、関連がある場合は適宜ディスカッションしても構わない。

「地域とくらし部会」

- テーブルA 【視点②】 仙台でともに生きる 【視点③】 仙台で暮らす
- テーブルB 【視点④】 仙台で育つ 【視点⑤】 仙台で学ぶ・活かす

「まちと活力部会」

- テーブルC 【視点①】 仙台を磨き伝える 【視点⑦】 躍動する仙台を創る
- テーブルD 【視点②】 仙台でともに生きる 【視点⑥】 仙台で働く

3 進行

○テーブルディスカッション (60分)

- ・各テーブルリーダーの進行のもと、下記についてフリーディスカッションを行う。
 - ①「審議経過」で例示されている以外の「取り組みのイメージ」について
 - ②「視点の掛け合わせ」による、さらなるブラッシュアップについて
- ・発言内容は、短文により付箋に書き込み、模造紙に貼り付ける。
- ・付箋(意見)は適宜分類し、関係あるものはつなげるなどイメージアップを図る。
- ・7つの視点の関連データを掲載した資料6は、ディスカッションの参考とする。

○成果発表 (15分)

- ・各テーブルリーダーから、3分程度で成果発表を行う。
- ・会長は、最後に講評を行う。

※ 会議の公開

テーブルディスカッションにおける会議公開については、下記の取り扱いによることとする。

○テーブルディスカッション当日

- ・各テーブル近くの傍聴席での傍聴を許可する。

○議事録

- ・議事概要は、模造紙及び付箋の画像データをもって代える。
- ・議事録は、模造紙及び付箋の内容を文字起こししたものをもって代える(発言者は記載しない)。